

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	愛知県 瀬戸市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	せと・まるっとミュージアム文化遺産活用計画		
4 実施計画期間	平成 23 年度 ～ 平成 29 年度		
5 実施計画の概要			
<p>第6次瀬戸市総合計画（平成28年度策定）、瀬戸市歴史文化基本構想（平成28年度策定）、瀬戸市景観計画（平成22年度策定）を踏まえ、平成29年度は次の事業を実施する。</p> <p>（1）瀬戸市民俗文化遺産（警固祭り標具等）調査事業</p>			
6 実施体制			
<p>本事業については、瀬戸市が全体計画の企画、調整、事業の指導等を行う。</p> <p>主な担当課、役割</p> <p>交流活力部文化課：本事業の総合企画、総合調整等 まるっとミュージアム課：観光業務に関する連携等 都市整備部都市計画課：景観計画に関する連携等</p> <p>また、平成29年度事業の実施については、次の団体が実施。 公益財団法人瀬戸市文化振興財団（「5 実施計画の概要」における(1)の事業を実施）</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成28年度交付決定額： 38,506 千円	平成29年度申請額： 7,165 千円
	(2) 実施事業の概要	別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>「瀬戸市歴史文化基本構想」第4章において「文化財把握のため調査・研究実施」が課題であり、「広く文化財の把握に努め」るとする基本方針が示され、第5章において「市民の主体的参加によって本構想の推進を図っていくためには、本構想を市民に周知し、策定の意義及び瀬戸市文化財・遺産魅力を知ってもらうことが重要です。」とある。本計画のなかでも平成29年度事業を含む瀬戸市民俗文化遺産（警固祭り標具等）調査事業によって消えかけた祭礼関連の民俗文化財を記録・保存していくことは文化遺産を総合的に活用するための基礎資源となるものであり、また歴史文化基本構想の中の位置づけを背景として市域の献馬行事について市民に広く知ってもらうことは瀬戸市民としての誇りを醸成する有効な手立てとなる。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：	なし		
事業概要：	なし		
事業概要：	なし		
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
平成28年度に「瀬戸市歴史文化基本構想」を策定。「歴史的風致維持向上計画」については、作成を検討中。			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	瀬戸市交流活力部文化課		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 1 :	地域の祭礼行事等への入込客数			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標 1 :	今村八王子社の飾り馬祭礼参加者数			関連事業 :	別紙②の事業①	
目標値 1 :	平成 27 年度	90 人	⇒	平成 29 年度	300 人	
設定根拠 1 :	今村は、市内各地区で行われている献馬行事の中でも、各シマから計4頭献馬されるムラ内でのシマ献馬が残っている地域であるが、年々祭りの担い手が減少し参加者・見学者数の復活が課題となっている。今回の調査を通じて地域住民の関心を高めることが期待されるため。					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	
人	人	人	人	人	人	
目標区分 2 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 2 :	その他			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標 2 :	市域各地の献馬行事で奉納される馬の頭数			関連事業 :	別紙②の事業①	
目標値 2 :	平成 27 年度	7 (単位)	⇒	平成 29 年度	7 (単位)	
設定根拠 2 :	瀬戸市域では、山口・菱野・本地で各1および今村では、かつて5頭献馬されていた。しかし今村の一つのシマが献馬をH25年度から取りやめたため1頭減となった。このままではさらに献馬取りやめのシマが増加する危機感が地元で強く、今回の調査を通じて現状維持ないし、今村の5頭献馬復活を目指したいため。					
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	
(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	
目標区分 3 :	その他					
評価指標区分 3 :	その他			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標 3 :	献馬行事講演会での参加者アンケートにおける文化財保護に対する満足度			関連事業 :	別紙②の事業①	
目標値 3 :	平成 28 年度	46 %	⇒	平成 29 年度	66 %	
設定根拠 3 :	献馬行事講演会で参加者にアンケートを行い、文化財保護についての意識調査を行う中で、アンケート時点での文化財保護に対する満足度を聞くことで、平成28年度に歴史文化基本構想関連行事で回答された「大変満足・やや満足」の回答と比較し、本事業で推進された文化財保護に対する率直な評価をはかることができるため。					
進捗状況 3 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	
%	%	%	%	%	%	

様式 1 - 1 別紙②

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①:	瀬戸市民俗文化遺産（警固祭り標具等）調査事業		実施団体:	公益財団法人瀬戸市文化振興財団			
事業区分:	その他		事業期間:	平成 27 年度 ~ 平成 29 年度			
事業概要:	市域各地区に残された献馬行事関連の馬道具や神の憑代である標具や文書類等を、瀬戸市域全域を網羅すべく悉皆調査を行い最終年度には調査成果の報告会としてシンポジウムを開催する。						
評価指標区分:	その他			(具体的な指標は次のとおり)			
具体的な指標:	献馬行事に関わる調査対象者及び祭礼参加者の数						
目標値:	平成 27 年度		90 人	⇒	平成 29 年度		300 人
進捗状況:	各年度、状況値、目標に対する達成率						
平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度		
人	人	90 人	180 人	人	人		